

むらいクリニック通信

Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic Murai Clinic

高血圧と睡眠時無呼吸症候群

診察室血圧が正常域血圧であっても、家庭血圧（診察外血圧）が高血圧を示す状態

仮面高血圧に含まれる病態とその因子

早朝高血圧

アルコール・喫煙
寒冷
起立性高血圧
持続時間の不十分な降圧薬

夜間高血圧

循環血液量の増加
(心不全・腎不全)
自律神経障害
(起立性低血圧、糖尿病)

昼間高血圧

職場での精神的ストレス
家庭での精神的ストレス
身体的ストレス

睡眠時無呼吸症候群

抑うつ状態
認知機能低下
脳血管障害

診察室外血圧

家庭血圧
135/85mmHg
24時間血圧
130/80mmHg
昼間血圧
135/85mmHg
夜間血圧
120/70mmHg

仮面高血圧	高血圧
正常域血圧	白衣高血圧

診察室血圧
140/90mmHg

日本高血圧学会、高血圧治療ガイドライン2014

CPAP治療は対処療法、
予防治療です。
理想は毎晩4時間以上の
使用を心掛けましょう！

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は、夜間に繰り返し発生する無呼吸により、血液中の酸素が不足したり、中途覚醒が生じ睡眠を分断させます。その結果、新鮮な血液を送ろうと心臓をさらに働かせるために刺激を与えます。

血圧は夜になって眠ると昼間に比べて低くなるのですが、SASがあると眠っても血圧が下がらなかったり、逆に昼間より高くなることがあります。夜間の血圧が昼間の血圧より高くなった場合、他の高血圧患者と比べて

脳卒中のリスクが約2.1倍
心筋梗塞、狭心症のリスクが約6.2倍
上昇することが報告されています。

また重症のSAS患者さんが治療をしなかった場合、心筋梗塞、狭心症のリスクはSASがない人の約3倍！

SASは夜間の心臓突然死に加え、冠動脈疾患や心不全など循環器疾患、および無症候性脳梗塞を含む脳血管疾患の危険因子となります。

さらに、治療抵抗性高血圧となる二次性高血圧の最も多い要因です。

高血圧患者のSASを適切に診断し治療することは、きわめて重要となります。

無呼吸がある状態での睡眠は、心臓にかなりの負担をかけています。CPAP治療をすることで、無呼吸に伴う心臓への負担を軽減し、さらには心臓、血管系の病気へのリスクを減らします。

◆◆◆◆クリニックよりのお願い◆◆◆◆

泊りの検査を予約された方は、特別な事情を除いてはキャンセルをお控え下さい。

キャンセルされる場合は、早めの連絡をお願いします。

CPAP使用の患者さんは土曜日や20日以降の受診は大変込み合い、待ち時間が長くなります。CPAPの使用状況に関係なく月1回受診してください。月末に来院のない方は受診予定の確認のため、当院もしくは機器メーカーより連絡をする場合がありますので御了承ください。

耳鼻咽喉科・アレルギー科
いびき・無呼吸検査治療室

むらいクリニック

〒503-0836
岐阜県大垣市大井2-44-2
Tel. 0584-77-3838 Fax 0584-77-3839
予約専用Tel. 0584-47-9898
<http://www.murai-clinic.jp>



予約QR